

抗菌剤に頼らない常在疾病防除技術の開発

背景

- 家畜常在疾病の発生予防や症状軽減、病原体のまん延防止に寄与するワクチンや摘発技術の開発を通して、家畜における抗菌剤の適正使用に貢献する。

研究内容

- 家畜の常在細菌疾病ならびに常在ウイルス疾病について感染防除、排菌抑制または発病抑制効果の高いワクチンまたは分子薬のシーズを開発。
- 牛伝染性リンパ腫の発症・伝播リスク牛の摘発技術の開発。

研究成果

- サルモネラ症、豚浮腫病、牛難治性乳房炎、トリアデノウイルス感染症、豚流行性下痢のワクチン候補抗原および候補株を作出し、ヨーネ病に関して排菌抑制効果の高い分子薬候補を見出した。
- 牛伝染性リンパ腫の発症高リスク牛の摘発マーカー候補および乳汁を用いたウイルス伝播高リスク牛の摘発マーカー候補を見出した。

